

たるみ歯科通信

2018年1月号 No. 85

明けましておめでとうございます。院長の樽味です。

昨年12月、新幹線の台車に亀裂が入る重大インシデントがありましたが、歯科材料も同じで、経年的に口腔内で劣化していきます。台車は交換できますが、歯科においては、再治療が繰り返されることで自分の歯が少なくなっていく、最後は抜歯に至ります。我々は、むし歯を見つけるとすぐに削って詰める従来の歯科治療が、必ずしも患者さんのためにならないと考えており、2003年の開業当初から定期健診を軸とした疾患の予防に力を入れてきました。

日本ヘルスケア歯科学会では、「むし歯や歯周病は少しの気づかいと専門家のサポートでほぼ確実に予防できる」と伝えています。開業からの15年で我々もこの文言を実感できるようになりました。歯科衛生士が同学会の認定を目指す過程でスキルアップしたこと、口腔内写真やX線写真を定期的に撮影することで患者さんのお口の変化を比較・確認できるようになったからです。

今年、我々は『整』を意識します。心と体を整え日々の診療に臨むとともに、院内研修などを通じて知識を整理していきます。また診療室や器具の整理整頓も心がけます。これらを継続することで、更に質の高い歯科医療を提供できると確信しております。それでは皆様、本年もよろしくお願い申し上げます。

新年、明けましておめでとうございます！ 歯科衛生士の山下です。
今年も地域の皆さまに多くの情報を発信できるように、そして私自身も大きく成長できる一年になるように、しっかり頑張ろうと思っています。
本年もよろしくお願い申し上げます。

さて最近よく「歯科衛生士さんってどんなことをするの?」とか「歯科衛生士さんってどうやったらなれるの?」などの質問を受けることがあります。
そこで今月の通信では、私たち「歯科衛生士の仕事」についてご紹介します。

私たち歯科衛生士が毎日の診療の中で行なっている業務は、「歯科保健指導」「歯科予防処置」「歯科診療補助」の3つに分類されます。

1. 歯科保健指導

皆さんに正しいホームケアをしてもらえるように私たちがサポートします。

「歯磨き指導」や「食事指導」、「禁煙支援」などを通じて、その人に合わせたムシ歯や歯周病の予防方法をお伝えします。



2. 歯科予防処置

お口の中をきれいにクリーニングして歯周病を予防したり、歯ぐきの奥深くの歯石をしっかりと取って重度の歯周病を治療したりするのは私たち歯科衛生士の仕事です。歯周病の予防・治療だけでなく、フッ素塗布やシーラントなどのムシ歯の予防処置も行ないます。



3. 歯科診療補助

歯科医師の隣で診療がスムーズに進むようにアシストをします。

たるみには12人の歯科衛生士が在籍し、8人が「日本ヘルスケア歯科学会」の認定歯科衛生士の資格を取得しています。

皆さんのお口の中がいつまでも健康でいられるように、「定期健診」を通じてそれぞれに合わせたケアを行なうことが私たち歯科衛生士の大きな役目です。



1月の予定

☆ 矯正日は18日(木)午後です。

☆ 19日(金)午前 は院内研修のため 休診 といたします。



たるみ歯科通信



2018年2月号 No.86

こんにちは。歯科衛生士の岡本です。

まだまだ厳しい寒さが続きますが、いかがお過ごしですか？

2月は節分やバレンタインなどのイベントがあるので楽しみです。



さて、今回の通信は、私たち歯科衛生士の仕事のひとつである、患者さんのお口の中の状態を把握するための「資料」を採ることについてご説明します。

口腔内写真

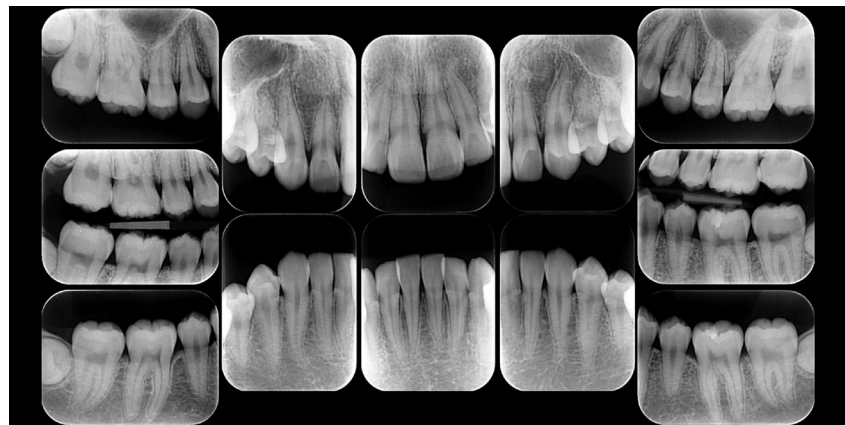
お口の中の状態を写真に残します。
初診の方の治療計画を立てるときや、
変化を診るときに使う資料で、
定期健診を続けていく上では
必要不可欠なものです。

私たち歯科衛生士は5分ほどで12枚の規格写真を撮影できます。



X線写真撮影

お口全体のレントゲン写真を撮って、歯や歯を支えている骨の状態、神経の処置をしている歯の根の状態などを確認することができます。



歯周病検査

実際に歯ぐきを触って、歯と歯ぐきの境にある溝の深さ（歯周ポケット）、歯ぐきからの出血の有無、歯の動揺、歯垢の量などを調べて、歯周病の状態を診査します。

歯周ポケット検査



通常3mmぐらいの深さですが歯周病が進行すると5mm以上にもなります。

私たち歯科衛生士は「正確な資料」を
短い時間でしっかり採れるように日々練習に励んでいます。

2月の予定

- ☆ 矯正診療日は **15日(木)午後** です。
- ☆ 院内研修のため **16日(金)午前** は **休診** といたします。

たるみ歯科通信

2018年3月号 No. 87

こんにちは。歯科衛生士の瀬川です。

この冬はとても寒かったですが、だんだん暖かくなってきてようやく春が近づいているのを感じられるようになりました。

さて今月の通信は1月号2月号に続き、私たち歯科衛生士の仕事の中でもとても大切な仕事のひとつ、「歯石をどのように取っているのか」をお話します。

歯石を取る理由は？

歯石とは歯垢が硬くなってしまったもので、歯ブラシでは取れません。

歯石が付いたままだと歯ぐきが腫れて、出血しやすくなり、歯周病がどんどん進んでしまいます。

また、歯石の表面はザラザラしているので細菌が付きやすく口臭の原因にもなります。ですから歯周病を治して引き締まった健康な歯ぐきにするには歯石をしっかりと取ることがとても大切なんです。

歯石治療前



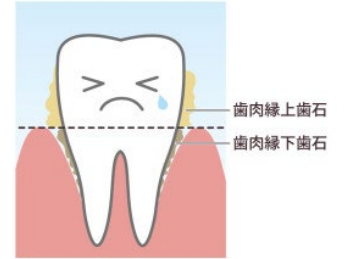
治療後



どうやって歯石を取るの？

歯ぐきより上に付いている目に見える歯石(縁上歯石)は簡単に取ることができますが、歯周ポケットの中にある歯石(縁下歯石)は歯に強固にくっついていてなかなか取れません。

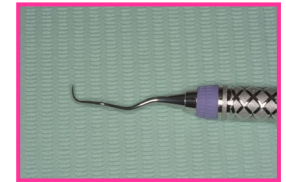
縁下歯石は見えない場所にあるので、私たちはまず歯ぐきの中を慎重に探知して、どのあたりでどんな風に歯石がついているのかをイメージします。



そして超音波で歯石を粉砕する「超音波スケーラー」と、硬い歯石を掻き出す「ハンドスケーラー」と呼ばれる器具を使って歯石を取ります。超音波スケーラーで縁上歯石やとれる範囲の縁下歯石を取り、取り切れない細かい歯石や硬い歯石をハンドスケーラーで取ります。



← 超音波スケーラー



ハンドスケーラー →

歯石が付いてしまったら私たちにお任せください！
歯石が取れて歯がツルツルになったら気持ちいいですよ。

3月の予定

- ★ 院内研修のため **3/16(金) 午前** は **休診** といたします。
- ★ 矯正診療日は **3/22(木) 午後** です。

たるみ歯科通信

2018年4月号 No. 88

こんにちは、受付の大嶋です♪
入学・入社などの季節ですね！！
たるみ歯科でも、4月から新しいスタッフが
仲間入りしたので、これからが楽しみです♪♪

今回は、フッ素の配合量が増えた
「チェックアップ スタンダード」
についてお話しします！！

去年の3月から、1500ppmを上限とする
高濃度フッ化物を配合した歯磨き粉が厚生労働省から医薬部外品として認められました。
(それ以前は、1000ppmでした。)

WHOでは、フッ素濃度が500ppm上昇する
ごとにムシ歯の予防効果が6%増加するといわれています。

当院のケアグッズコーナーで販売中の
「チェックアップ スタンダード」も
フッ素濃度が1450ppm
にアップしました！！



チェックアップ スタンダード

550円

大人の方向けですが、
ムシ歯になりやすいお子様にもオススメ！

※ 6歳未満のお子さんへの使用は控えてください。



ペースト状歯磨剤の使用量の目安

年齢	使用量	歯磨剤の推奨フッ化物濃度
6か月～2歳 (歯の萌出)	切った爪 程度の少量 (3mm程度)	500ppmF (泡状歯磨剤であれば 1,000ppmF)
3歳～5歳	5mm以下	500ppmF (泡状またはMFP歯磨剤※ であれば1,000ppmF)
6歳～14歳	1cm程度	1,000ppmF
15歳以上	2cm程度	1,000ppmF

使い方

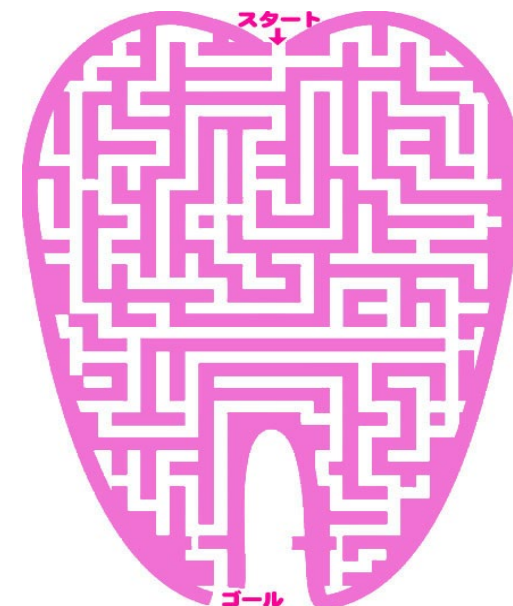
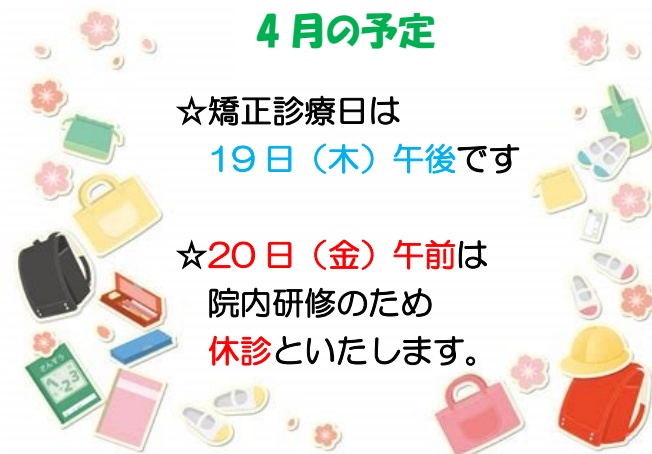
- ① 歯ブラシに歯磨剤をつけて歯面全体に広げる。
- ② 2～3分間、泡立ちを保つように磨く
- ③ 歯磨剤をはきだし、5～15mlの水で5秒ほど
ブクブクうがいをする ※うがいは1回で！！
- ④ 歯磨き後、1～2時間程度は飲食は控えましょう！

定期健診でのフッ素塗布も大切ですが、
自宅での歯磨きの際にも、フッ素の配合
された歯磨剤を使用して、
ムシ歯をしっかり予防しましょう♪♪

4月の予定

☆矯正診療日は
19日(木)午後です

☆20日(金)午前は
院内研修のため
休診といたします。



たるみ歯科通信

2018年5月号 No. 89

こんにちは。歯科衛生士の田淵です。

当院はこの5月に開院15周年を迎えます♪

4月から新しいメンバーも増えて、よりパワーアップした

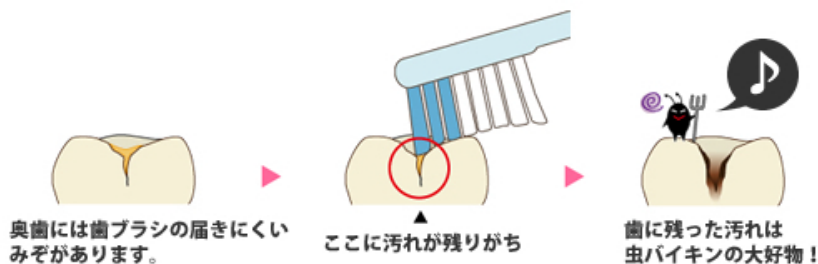
たるみ歯科クリニックを今後ともよろしくお願ひいたします！

さて、今月の通信は、奥歯の溝をムシ歯から守る「シーラント」

についてお伝えします。

シーラントとは

生えたての歯はとても未熟で、歯の質も弱いので、ムシ歯菌の攻撃に弱いです。特に「奥歯の溝」は歯ブラシが届きにくいので汚れが残りやすく、ムシ歯になりやすい場所です。



この奥歯の溝にフッ素の入った樹脂を埋めて、ムシ歯を予防する方法を「シーラント」といいます。

歯磨きだけでは十分にきれいにするのが難しい奥歯の溝を、超音波の機械を使ってしっかり清掃した後、シーラント材で溝を埋めて歯垢を溜まりにくくします。



シーラント前



シーラント後

シーラントをすると奥歯の溝のムシ歯を予防することができます。ですが、もちろんシーラントをしたから歯磨きをしなくていいという訳ではありませんし、砂糖摂取のコントロールも必要です。シーラントをした後も、そこがムシ歯になりやすい場所であることに変わりはないので、定期健診でしっかりチェックしていきましょう。

詳しくは担当歯科医師・歯科衛生士までお声掛けください。

お知らせ

- ☆ 矯正診療日は 17日(木曜)の午後 です。
- ☆ 院内研修のため、19日(土曜)は 休診 といたします。



たるみ歯科通信

2018年 6月号 No.90

こんにちは。歯科衛生士の安井です。

梅雨の季節になりましたね。

主婦の私は雨がが続くと、洗濯物が干せなくて部屋中が洗濯物でいっぱいになって困ってしまいます。



さて、今月の通信は癖の1つとして考えられる、

「食いしばり」「歯ぎしり」についてお話します。

皆さんは、「噛みしめると痛い」「冷たいものがしみる」「顎が痛い・だるい」などの症状で困ったことはありませんか？ ひょっとしたらその症状は「食いしばり」や「歯ぎしり」が原因で起こっているのかもしれません。

「食いしばり」「歯ぎしり」とは、日中や寝ている間に歯を接触させたり、すり合わせたり、噛みしめたりすることを言いますが、多くの人が無意識にやっていることなので、それを自覚していない人がほとんどです。

1日のうちで上下の歯が接触している時間はわずか20分ほどです。唇を閉じてリラックスしている時は、上下の歯はあたらずに1~3ミリほど隙間があいているのがふつうです。

上下の歯が軽く接触しているだけでも、その時間が長いと、**歯や顎には相当な負担がかかっているといわれています。**



「食いしばり」や「歯ぎしり」が長く続くと、歯にヒビが入って折れたり、歯ぐきが下がったり、噛むと痛みが出たりと、様々な症状が起こります。

「食いしばり」「歯ぎしり」への対処法

・顎の筋肉のマッサージ

唇を閉じて上下の歯を離し、リラックスして頬のコリをほぐすようにマッサージをしてください。



・メモを貼る

目につきやすい場所に「歯を離す」と書いたメモを貼り、それを見たときに歯があたっていないか確認します。あたっていれば上下の歯を離すように意識しましょう。

・ナイトガード

歯や顎へのダメージを軽減させるために就寝時にナイトガードを装着することもできます。硬い樹脂で作られたオーダーメイドのものを 사용합니다。

ナイトガードは健康保険適応で費用は3割負担の方で約5千円です。



「自分には無意識に噛みしめてしまう癖がある」と気づくことがはじめの一歩です。

6月の予定

☆ 矯正診療日は **21日(木)の午後** です。



たるみ歯科通信

2018年7月号 No.91

こんにちは。歯科衛生士の田中です。

梅雨が明けてまた暑い季節がやってきましたね。

夏バテにならないように頑張りましょう♪

先月、毎年行っている近隣の保育園の歯科健診に行ってきました。

今年はムシ歯のある子がとても少なかったのが印象的です♪

きっと皆さん、ご家庭でお口のケアにしっかり取り組んでもらえてるからでしょうね。というわけで今月の通信は、

「お子さまのムシ歯予防」についてお話します。



お子さまの歯をムシ歯から守るためには次のことが必要です。

- ★ 規則正しい食生活習慣を身につける。
- ★ 歯磨き・仕上げ磨きの習慣をつける。
- ★ フッ素を利用する。
- ★ 定期健診を続ける。



食生活の工夫のいちばんは甘い物（砂糖）の摂り方です。ダラダラと長い時間甘い物を食べ続けるのはやめましょう。寝る前のジュースも危険です。唾液をたくさん出すと、汚れが流れてムシ歯になりにくいので、小さい頃から『よく噛めるもの』をメニューに取り入れるのも大切なことです。

歯磨きはムシ歯予防に欠かせません。毎日しっかり丁寧に磨いて、ムシ歯菌の塊であるプラークを取り除き、お口の中を清潔にしましょう。永久歯が生えだす小学校低学年のうちは仕上げ磨きをお願いします♪

フッ素には歯のエナメル質を強化し、初期ムシ歯を修復してくれて、さらにムシ歯菌の攻撃を弱める効果もあります。毎日の歯磨きにはフッ素入りの歯磨き粉を使用し、さらに歯科医院での定期的なフッ素塗布も続けましょう。

ご家庭でできるムシ歯予防の中で最も効果が高いのはフッ化物洗口（フッ素のうがい薬）です。長い期間継続することで、より高い効果が期待できます。



歯科医院で定期健診を続けることもムシ歯予防にはとても大切なことです。定期健診ではお子様の生活スタイルに合わせた「歯磨き指導」や「間食指導」をします。そしてお口の中をきれいにクリーニングして、シーラントやフッ素塗布などのムシ歯予防処置も行ないます。

定期的にレントゲンやお口の写真を撮って記録を残しながら健診を続けていきます。

初期ムシ歯を早期に発見し、それを削らないといけないような大きなムシ歯にしないように長期的に管理することも定期健診の目的のひとつです♪



お子さまの将来の健全な永久歯列のために
小さいうちからしっかりムシ歯を予防しましょう！

7月の予定

- ☆ 院内研修のため **20日(金曜)の午前** は **休診** といたします。
- ☆ 矯正診療日は **26日(木曜)の午後** です。

たるみ歯科通信

2018年8月号 No.92

こんにちは。歯科助手の臼井です。
先月から異常な暑さがずっと続いてますが、皆さん夏バテしていませんか？
まだまだ暑い夏は続きますが、頑張って乗り切りましょうね！

さて、今月の通信は「クレンリネス」について
お話しします。

聞きなれない言葉だと思いますが、
歯科医院ではとても大切な考え方なんです。

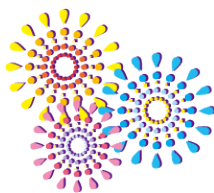


「クレンリネス」って？

皆さんもご家庭でお掃除をされていると思いますが、私たちが毎日医院を清掃
しています。でも清掃が終わった時だけ医院がきれいというのではあまり意味
がありません。

清掃をして医院をきれいにすることも大事ですが、もっと大切なことは、
きれいになった歯科医院をずっときれいなままでキープすることなんです。

「クレンリネス」とは「清潔さ」を意味し、
「お掃除してきれいになった状態を保つこと」をいいます。
私たちは皆さんに気持ち良く来院していただくために、
目に見えるところだけでなく、目の届かないところまで、
清潔できれいな状態を維持するように毎日清掃をしています。



ただ汚れを拭き取るのではなく、汚れの成分によって使用するクリーナーを
使い分けています。

- シートの汚れに有効なクリーナー
待合室のソファや診察台の汚れは油汚れや皮脂・空気中の浮遊物などで
弱酸性のため、弱アルカリ性のクリーナーで毎朝拭き掃除を行なっています。
- 水汚れに有効なクリーナー
水垢などの汚れの成分はアルカリ性のため、10%希釈のクエン酸水を使って
水周りをいつもピカピカにしています。

このように汚れに応じたクリーナーを使用することで、
清掃効果や効率をグンとアップさせることができます♪



「たるみ歯科って、土足なのにいつも床がピカピカですね！」

という言葉をお客様からよくいただきます。

当院には3ヶ月に1回、専門の業者さんがワックスがけに来てくれています。
さらに、そのワックスのツヤを少しでも長持ちさせるために、私たちが専用の
掃除器具を使って1日2回床拭きをしています。

「汚れはついたらすぐ落とす。その日の汚れはその日のうちに！」

を日頃から実践することで、いつも清潔できれいな診療室を保つことが
できますし、時間がかかる大掃除の手間を減らすこともできます。

“清潔を保つ クレンリネス”
皆さんもご家庭で実践してみませんか。

お知らせ

- ☆ 10日(金曜)午後から16日(木曜)まで
夏季休暇をいただきます。
- ☆ 矯正診療日は23日(木曜)午後です。



たるみ歯科通信

2018年9月号 No.93

こんにちは、歯科衛生士の八木です。

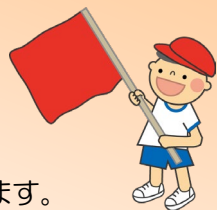
日中はまだ暑い日が続いておりますが、朝晩は過ごしやすくなりましたね。

皆さま、夏休みはいかがお過ごしでしたか？

私はようやく子どもの夏休みが終わってホッとしています。

これから始まる運動会の練習も

毎日元気に乗り切りたいものです。



さて今回の通信は、『高齢者の口腔ケア』についてお話しします。

昨年末に近隣に新設された介護付有料老人ホームからの依頼を受けて、今年の初めから、施設の希望者を対象に「口腔ケア」「入れ歯の作製・修理・調整」などの訪問診療を始めました。

日々の診療に出来るだけ支障のないように、週に一日、医院の昼休みの時間を使って数人のスタッフで施設を訪問しています。

年を重ねるにつれて「噛む」「飲み込む」「呼吸する」「話す」「表情をつくる」などのお口の機能全般が少しずつ衰えていきます。

そこで、適切な口腔ケアを行なってお口の中の環境が改善できると、

うまく飲み込めずに気管に入った食べ物や

唾液の中の細菌が肺に入って起こる

誤嚥性肺炎の予防にもつながります。

さらに口腔ケアを通じて口腔機能が向上して

しっかり食事を摂れるようになると、

体も元気になって、気持ちも充実していきます。



実際に訪問診療時に口腔ケアでよく使用している
“スポンジブラシ”をご紹介します。



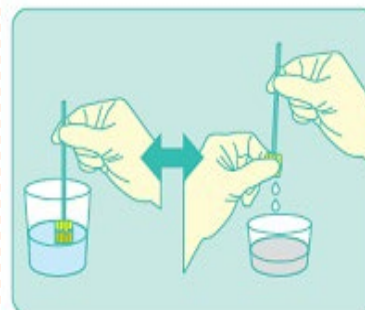
①スポンジブラシを水などで湿らせ



②スポンジブラシを固くしぼり、水分を



③スポンジブラシを回転させ、口腔内の汚れを巻き取りながら清拭します。



④異なるコップを使用して、巻き取った汚れを適宜洗い落としながら清掃します。



⑤保湿剤をスポンジブラシになじませ、口腔粘膜に塗布します。



ご高齢の方にとって、「お口の環境を良くすること」は
充実した毎日を過ごすために、とても大切なことです。

お知らせ

☆ 矯正診療日は 20日(木)の午後 です。

☆ 21日(金)の午前 は院内研修のため休診といたします。



たるみ歯科通信

2018年10月号 No.94

こんにちは、歯科助手の石毛です。

朝晩涼しくなり、過ごしやすい季節となりました。

皆さんはどんな秋の計画を立てていますか？

私はやっぱり食欲の秋♪ ママ友と食事会をたくさん企画しています！



さて今回の通信は、患者さんのお困りごとやご希望などを私たちにお話してもらって『**カウンセリング**』についてお話しします。

当院では初めての来院の方や、通院が2年以上あいたお久しぶりの方には診療前にカウンセリングの時間を取っています。

初診カウンセリング（初めて来院の方）

まずは「今、気にされている症状」について詳しくお聞きします。
続いて「生活習慣・健康状態・服薬」など治療上必要なことを、
さらに「来院のきっかけやご要望」などその人のこともお聞きして、
最後に「治療の流れや診療システム」についてお伝えしています。

再初診カウンセリング（お久しぶりの方）

期間があいている間、「お口の中はどうだったのか」「他の医院で治療を
してもらっていたのか」「お体に変化はないか」などをお聞きします。

リラックスしていろいろなことを話していただきたいので、当院のカウンセリングは、
診療台に座って歯科医師に話すのではなく、カウンセリングルームでカウンセラーに
話してもらうという方法をとっています。

『どうなったらいいなと思いますか？』

私たちが皆さんとお話する時に大切にしている質問です。

初めての歯医者に行く時や久しぶりに歯医者に行く時はとても緊張しますよね。そんな中でも歯医者に行こうと思ったのには人それぞれ様々な理由があると思います。私たちが特に知りたいのがその人の「**想い**」です。

例えば、

* 「歯を白くして口を大きくあけて笑えたら嬉しい！」

* 「もうムシ歯で困ることないがようにしたい！」

* 「固いお漬物もしっかり噛めるようになりたい！」 などです。



「**将来どうなったら嬉しいか**」をイメージしてもらって、その人の望みが分かると、治療のゴールを具体的に決めることができます。

私たちは患者さんに安心して通院してもらえるように、
皆さんそれぞれの想いや望みをしっかり理解し、
その人に合わせた治療計画を立てて、ゴールに
向かって一緒に進んでいきたいと思っています。



私たちに安心して何でも話してくださいね！

10月の予定

◇ 矯正診療日は **18日(木)午後** です。

◇ 院内研修のため **19日(金)午前** は **休診** といたします。



たるみ歯科通信

2018年11月号 No.95

こんにちは。歯科助手の坂口です。

暑かった夏が終わってあっという間に涼しくなり、いつのまにか紅葉を楽しむ季節になりました。

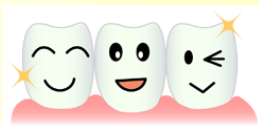
冬もすぐそこまで来ています。体調を崩していませんか？

これからインフルエンザも流行する季節です。

手洗いうがいを忘れずにしっかりしましょう。

今月8日は「いい歯（11・8）の日」です。

「お口と健康な歯を大切に！」という日です。皆さんにはご自身のお口に
関心を持って、定期健診を続けてもらえたら嬉しいなと思っています。



今月の通信は、「治療器具の **滅菌**」についてお伝えします。

「器具の滅菌」と聞くと「器具をキレイにする」というイメージだと思いますが、「滅菌」の正確な意味をご存知ですか？

「洗浄」とは“**表面の汚れを洗い落とすこと**”で、

「消毒」とは“**病原性細菌を除去すること**”ですが、

「滅菌」とは“**全ての微生物を完全に死滅させて
無菌状態にすること**”を言います。



皆さんに**安全で安心な歯科医療**を提供するには「滅菌」が欠かせません。治療に使用した器具には、唾液や血液が付着するものが多く、その中には細菌やウイルスが含まれているので、そのような器具には「洗浄」や「消毒」ではなく「滅菌」を行なうことが必要です。

当院では、“**血液や唾液は、感染の有無にかかわらず、感染性があるものとして取り扱う**”という考えのもとで正しい感染対策を行なっています。

当院では「**洗浄**」→「**滅菌パック包装**」→「**高圧蒸気滅菌**」という手順で常に清潔な状態で器具を管理しています。（詳しくはHPをご覧ください。）

① 洗浄

滅菌の前にまず器具をしっかり洗浄することが大切です。

ミーレジェットウォッシャーという医療用の自動洗浄機を使用して、器具に付いた唾液や血液などの汚れを確実に落とします。

② 包装

滅菌専任スタッフが手作業で器具を仕分けし、パック詰めをします。

③ 滅菌

オートクレーブという高圧蒸気滅菌器ですべての細菌・ウイルスを完全に死滅させ、滅菌を完了します。

滅菌後は使用する直前まで滅菌状態を保ちます。



洗浄（自動洗浄機）



パック包装（手作業）



滅菌（オートクレーブ）

皆さまに「**安全で安心な歯科医療**」を受けていただくため、
当院は「**滅菌**」にこだわっています。

お知らせ

☆ 矯正診療日は **15日（木）午後** です。

☆ 東京での日本ヘルスケア歯科学会主催の学術大会に参加するため **24日（土）は 休診** といたします。



たるみ歯科通信



2018年 12月号 No.96

こんにちは、受付の桑形です。

いよいよ12月になりました。月末には平成最後のクリスマスもありますね。今年はどうな1年でしたか？来年も皆さまにとっていい年になりますように。

さて、今年最後の通信は、

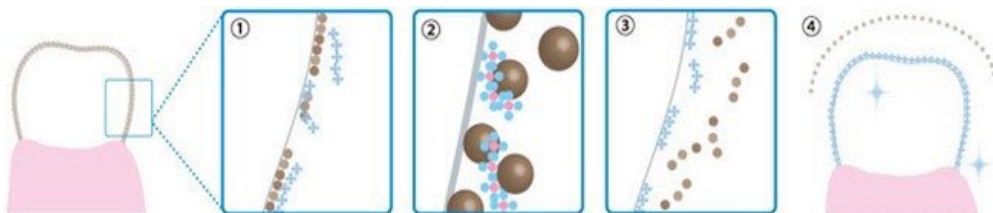
美白歯磨き粉「ブリリアント モア」についてお話しします。

着色を除去して白い歯になりましょう！！



「いつもしっかり歯磨きしているのにすぐにまた着色してしまう・・・。」

そんな方には着色除去用歯磨剤、「ブリリアント モア」がおすすめです！ピロリン酸ナトリウムという清掃助剤が、着色の原因となるステインをイオンの力で歯の表面から浮き上がらせて、すっきり落とします。



◆◆◆ ピロリン酸 ● ステイン

※図はイメージです

「ブリリアント モア」はステインの除去だけでなく
クリーニング後の白い歯を保つためにもオススメです！



「ブリリアント モア」のおすすめポイント！！

• お手軽に着色除去できる！

毎日歯磨きするだけの簡単ケア！
歯をピカピカに白くキープできます。
着色しやすい方におすすめです！



• ムシ歯予防にも良い！

「ブリリアント モア」は着色除去メインの歯磨剤ですが、フッ素も配合されているので歯の再石灰化を促進してムシ歯も予防します。

※ 歯周病予防にはSP-Tジェルがおすすめです。

• 選べる3種類のフレーバー！

爽やか ← フレッシュスペアミント シトラスミント → 甘い アプリコットミント



「ブリリアント モア」はケアグッズコーナーで販売しています。
詳しくはスタッフまでお尋ねください！

12月の予定

- ★ 矯正診療日は 12/20 (木) 午後 です。
- ★ 年末は 12/27 (木) 16:00 までの診療 とし、
年始は 1/5 (土) 午後から診療 いたします。



Merry Christmas